

憂慮される人口減少とその対策について レジメ

諏訪商工会議所懇談会にて

24. 12. 5 矢島義恭

はじめに 将来人口推計値について

資料2、資料3

1. これまでの人口の推移と将来の人口推計値について

(1) 諏訪圏域の人口減少

- 人口推移と将来推計人口 資料3
- これまでも一貫して社会減少（転入－転出）であった 資料7、資料5
高卒後圏外進学の高卒者の回帰が少ない
- これまで大きな自然増加（出生－死亡）があったが、近年自然減少に転じ将来的には
多くなって行く 資料4
- 50歳位以下の子育て期世帯人口は減少するが、高齢者人口は増え続ける
- 諏訪の主産業である 製造業と観光業における縮小傾向 資料6

(2) 6市町村の人口の推移

- 各市町村の特徴 資料1
- 急減期に入った諏訪市の人口 資料8

(3) 諏訪市7地区の人口の推移

- 平坦部水田地域の人口増加（宅地化と商業地化） 資料10、資料11
- 上諏訪市街地の人口減少と地盤沈下 資料11、資料11

2. 人口減少の経済的な影響 [例]

- 新設住宅着工戸数の減少 資料14
- 地価の下落 資料13
- 生活用品市場の縮小（子育て期家族減少の影響が大）
- 財政収入・規模の縮小 ⇒
- etc.

3. 行政による人口減少のくい止め策

地方での成功例は？

- 産業の振興、子育て支援、田舎暮らし転入推進（農村定住）
- 岡谷市、茅野市、原村、長野県の場合

4. 包括的な人口減少への対応策の検討

資料6、資料9

- 積極的なくい止め策 [少子化] 若い女性の都会からのUターン、Iターンを
 - 暮らしやすく子育て環境のよいふるさと像
 - 高学歴女性が望むオフィスのな職場

- 受容した上での対応策 資料6

人口増加基調の地域計画から脱却し、人口減少対応の地域振興計画へ

5. 上諏訪市街地の人口減少くい止め策

(別紙)

- 市街地再生の市民運動 まちなか暮らしをすすめる

以上

「上諏訪市街地の再生にむけて」 検討提言メモ

24.12.5 矢島義恭

	上諏訪市街地の人口推計値		
	人口(人)	減少(人)	減少率
1965年	26,826		
2012年	10,574	(16,252)	(-60.6%)
2022年	8,316	-2,258	-21.4%
2032年	6,322	-4,252	-40.2%

	上諏訪市街地の少子高齢化推計値	
	0歳～49歳人口 (子育て期家族)	50歳以上人口 (子育ての終わった家族)
2012年	4,475人 [42%]	6,099人 [58%]
2022年	3,240人 [39%]	5,076人 [61%]
2032年	2,193人 [35%]	4,129人 [65%]

◆ 人口激減の進行

⇒ 上諏訪市街地の地盤沈下

- 上諏訪市街地の45年前の昭和40年の人口は、26,826人。現在はその40%の人口規模。
- 現状のままでは、20年後に諏訪圏域で18.7%の減少、諏訪市は21.0%の減少、上諏訪市街地は40.2%の減少。

◆ 少子高齢化の進行

⇒ 上諏訪市街地の地盤沈下

- 子育て期の若者は郊外へ。0歳～49歳の子育て期家族人口が少なく現在42%を占めるにすぎないが、現状のまま進むと20年後には35%へとさらに激減、人数的には半減してしまう。全国平均は2011年57%、2030年46%なので、上諏訪市街地の比率は著しく低い。
- 子育ての終わった50歳以上の中高年世代が多く、現在でも65歳以上の高齢化率37.3%という超高齢社会ですが、20年後には41.3%となり50歳以上人口は50歳未満人口の約2倍という超高齢の街となります。

◆ 上諏訪市街地の再生に向けて

人口減少をくい止めることは極めて困難だが

目標 現状の人口維持くらいを目標に人口減少をくい止められないものか。その為には

—— 住みよい、暮らしやすい街なか暮らしの確認とまちづくり ——

- (1) 現状の先細りを打破して、子育て期世代が沢山移住してくること 主
- (2) まちなか暮らしに引かれた中高年世代や高齢者が移住してくること 従

活動 「住みよく暮らしやすい街」として子育て期家族や中高年世帯の移住をはかる

- (1) 上諏訪市街地の住みよさの確認と地域に向けての発信、継続的なPR
 - 子育て期家族にとっての住みよさ、暮らしやすさの確認
 - 中高年世代にとっての住みよさ、暮らしやすさの確認
- (2) 土地や住宅利用の流動性を高めて移住しやすい環境整備をはかる
 - 老朽空き家の整理 宅地化、駐車場化
 - 不動産情報の集約と提供 (宅地、住宅、賃貸住宅)
 - 中古住宅の再利用の可能性の検討
 - 高層マンションについての検討
- (3) 子育て期家族や中高年世代にとっての、住みよさや暮らしやすさの更なる整備

組織 住民的な推進機関としての「街なか暮らし懇話会(仮称)」

調査や検討 ⇒ アイディア・提言 ⇒ 推進活動

関心のある多世代の住民を中心になって

更に、建築関係業者、不動産業者、商工業サービス業者、etc

以上

資料1～14の出典レポートの案内

24.12.10 矢島義恭

下記のレポートはネットで見るができます

<http://homepage3.nifty.com/y-yajima/>

検索⇒「人口問題と高齢社会の課題」

- ◆ 国勢調査速報値からみた6市町村の将来推計人口の検証 2011年9月 4頁
- ◆ 国勢調査確定値によるレポートシリーズ
 - ◇ レポート No.1 憂慮される諏訪地方の人口減少 2011年12月 6頁
資料 1-p1、2-p2、3-p3
 - ◇ レポート No.2 コホート法による将来人口推計値の確度についての検証 2012年1月 2頁
 - ◇ レポート No.3 人口減少の要因である自然減と社会減についての考察 2012年2月 6頁
資料 4-p2、5-p3、6-p4、7-p5
 - ◇ レポート No.4 諏訪市の人口減少を地区別に考察 2012年2月 2頁
 - ◇ レポート No.5 個々の市町村の人口推計関連データ 2012年2月 8頁
資料 8-p3、9-p8
 - ◇ レポート No.6 人口減少に関連し 未婚者数や未婚率についての考察 2012年2月 2頁
 - ◇ レポート No.7 上諏訪市街地の町内会人口の激減と課題についての考察 2012年4月 4頁
 - ◇ レポート No.11 一人暮らし高齢者と夫婦のみ高齢者世帯の急増 2011年12月 2頁
- ◆ 諏訪市の地区別人口の現状と将来推計値 2012年10月 4頁
資料 10-p1、11-p2
- ◆ 上諏訪市街地の激しい高齢化と人口減少、地価の下落 2012年7月 4頁
資料 12-p3、
- ◆ 諏訪市内における継続的な地価の下落 資料 13-p1 2012年7月 3頁
- ◆ 諏岡茅野3市の人口と新設住宅着工戸数の推移 2012年10月 2頁
資料 14-p1

以上